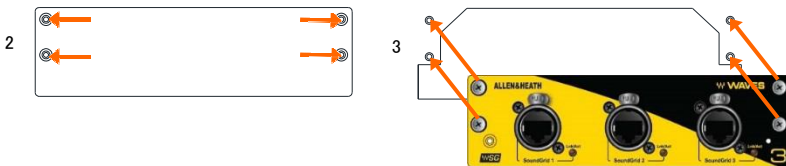


M-DL-WAVES3取付ガイド

M-DL-WAVES3は、Allen&Heath Live I/Oポートに接続できる複数のオーディオネットワークオプションの1つです。Waves SoundGridネットワークおよびプロセッシングプラットフォームに、128x128ch48/96kHzインターフェースを提供します。

カードの取付

1. システムの電源を切ります。
2. dLive MixRackまたはサーフェイスに固定されたI/Oポートダミーパネルの4本のネジを外します。
3. カードをスロットに差し込み、受け側のコネクタにしっかりと押し込みます。
4. 4本のつまみネジを締めてカードを固定します。



ソフトウェアとファームウェア

Allen&Heath製品のWavesの詳細については、Wavesのウェブサイトをご覧ください：

<http://www.waves.com/live-sound/allen-heath>

詳細なマニュアルをダウンロードし、手順に従い、ハードウェアをセットアップします。その後、カードのドライバーとソフトウェアをインストールします。

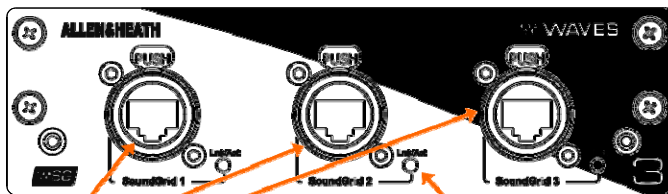
<http://www.waves.com/downloads/allen-heath> **最新版のdLiveファームウェア**

をダウンロードしてインストールしてください。

<http://www.allen-heath.com>

※M-DL-WAVES3には、dLiveファームウェアV1.3以降が必要です。

フロントパネル



SoundGridポート

最大3台のデバイスを直接接続するための3つのロック付EtherConポートを備えた内蔵ギガビットスイッチです。

Linkステータス

ネットワークアクティビティを示すために点滅します。

クロックと信号のパッチ設定

dLiveのI/O画面を使用して、I/Oポート間またはI/Oポート間で信号をパッチします。

MixRack/Audio/Audio Sync画面でクロックソースを選択します。マスターシステムではInternalに、その他すべてのネットワーク(クロックスレーブ)システムでは関連するI/Oポートに設定します。

※dLiveの設定と機能の詳細については、www.allen-heath.comでダウンロードできるdLiveファームウェアリファレンスガイドを参照してください。